

# 飛驒市教育振興基本計画



平成25年3月

飛驒市教育委員会



## はじめに

飛騨市は、平成16年2月に2町2村の合併によって誕生し、早いもので今年で10年目を迎えています。

現在、市政としての最重要課題は、少子高齢化・過疎化の進展による人口減少を食い止めることにあり、課題克服をふまえての町づくりの指針を「飛騨市第二次総合計画(平成22年2月策定)」に位置づけ、様々な取り組みが展開されています。

その施策の柱には、三つの豊かさとしての「生活の豊かさの追求」「心の豊かさの追求」「財政の豊かさの追求」が打ち出されていますが、「心の豊かさの追求」は、教育行政が大きな役割を担っており、より専門的、より具体的な取り組みによる推進が求められます。

そこで、飛騨市教育委員会は、豊かな心をもった人づくりとは、「ふるさと飛騨市を愛し、生涯にわたって学び続ける人づくり」ととらえ、その基本理念を「ふるさと意識をもち、学び続ける人づくり」として掲げました。

そして、この教育理念を基に、学校教育・社会教育ともに、さらなる推進の充実と確かな成果を願う時に、国の動向はもちろん、現在の本市の実態を具体的にとらえ、本市ならではの教育指針や施策をより明確に確立すること、すなわち、今後の本市の人づくりに資する生きた計画が必要であると考え、多くの関係者の皆様のご支援をいただきながら「飛騨市教育振興基本計画」を策定しました。

これからの10年間を通して目指すべき教育の姿を明確にし、前期5年間の総合的かつ基本的に取り組む内容として、基本理念を受けて4つの基本目標、6つの施策の方向、17の基本施策を体系化して示しています。

今後、「本基本計画が絵に描いた餅に終わることがあってはならない」を肝に銘じ、具体的な事業を通して、「小さな市から発信できる確かな教育」の充実と推進に努める所存です。どうか市民の皆様・関係者の皆様の格別のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

平成25年3月吉日

飛騨市教育委員会教育長  
山 本 幸 一



---

## 目 次

### 第1章 飛騨市教育振興基本計画の策定にあたって

- 【1】 計画策定の背景 . . . . . P1
- 【2】 計画の位置付け . . . . . P1
- 【3】 計画期間 . . . . . P2

### 第2章 飛騨市の教育の現状と課題

- 【1】 国・県の動向 . . . . . P3
- 【2】 飛騨市の教育を取り巻く現状と課題 . . . . . P5

### 第3章 基本理念と施策の基本目標

- 【1】 基本理念と基本目標 . . . . . P9
- 【2】 施策の方向 . . . . . P10
- 【3】 計画の体系 . . . . . P11

### 第4章 目標を実現するための基本施策

- 【1】 基本施策 . . . . . P13

### 第5章 飛騨市教育振興基本計画の推進と進行管理

- 【1】 総合的な推進体制 . . . . . P38
  - 【2】 計画の進行管理 . . . . . P38
-

---

# 第1章 飛騨市教育振興基本計画の策定にあたって

## 【1】計画策定の背景

今日の社会情勢は、少子高齢化・地域社会の空洞化・情報化・国際化の進展により、急速に変化する中であって、特に、平成21年のリーマンショックに端を発した世界同時不況による経済の打撃と雇用情勢の悪化、国政や県政の変革、さらには平成23年3月の東日本大震災により、回復の兆しも後退し、復興や放射能問題、エネルギー問題などの新たな課題が発生し、将来の生活が不安定な状況となっています。

本市においても、止まらない人口減少と少子化・高齢化・過疎化が進展し、その歯止めとなる対応や仕組みづくりが急務となっています。

また、国の地方交付税も段階的に減少していくことに加え、人口減少による税収の減収が響き、平成25年度の長期財政見通しでは、平成34年度には人口が約14%減少するとともに、約9億円の財源不足を予測しており、市民生活に密着した事業にまで影響を及ぼしかねない財政状況となっています。

こうした動向は、子どもたちの将来を取り巻く環境が、非常に厳しい情勢のまま継続するという不安から脱却できない状態が継続すると予想され、今後、子どもたちが、未来に向けて豊かな心をもって安心して暮らせるためには、生きる上での様々な問題や課題をより合理的かつ効果的に、より人間らしく解決できる力を身に付けさせる「教育」の担うべき役割が非常に重要となっています。

このような中で、多様化する教育課題等に適切に対応する中長期的な目標を明らかにしてその実現に向け、飛騨市だからこそできる教育施策を計画的に展開するため、「飛騨市教育振興基本計画」を策定することとしました。

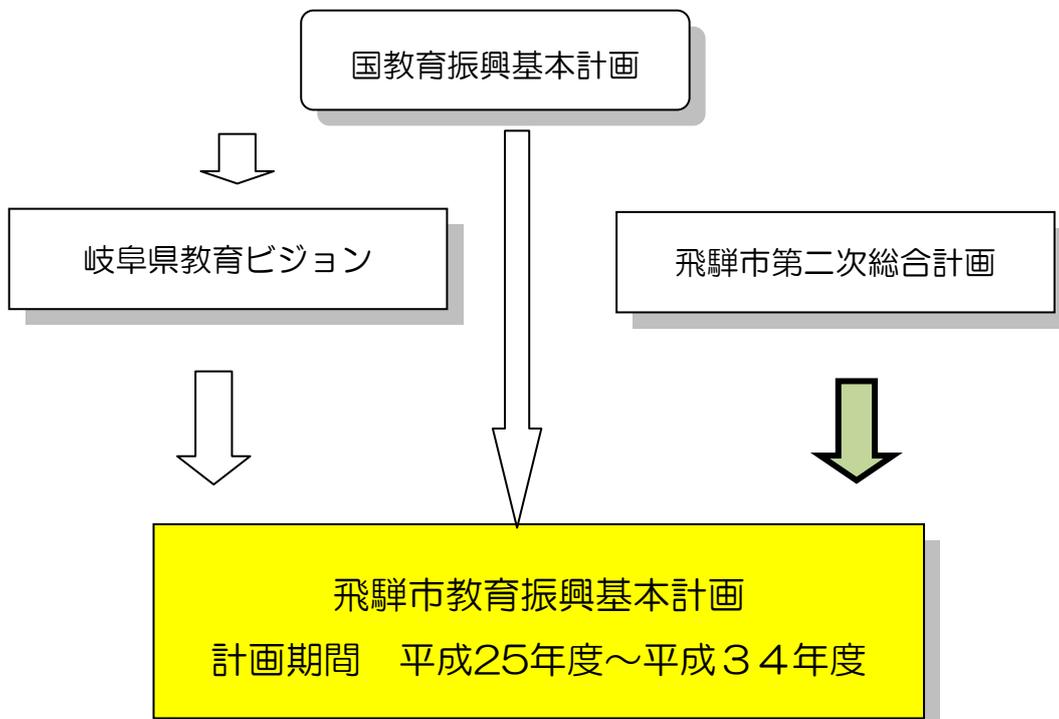
## 【2】計画の位置付け

本計画は、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、飛騨市第二次総合計画の実現を目指すものとして、飛騨市教育委員会が、市の教育の中長期的な目標や基本的な方向性を明らかにするとともに、総合的かつ計画的な推進を図るため、年度ごとの教育方針を定める際の指針として策定するものです。

### 【3】計画期間

計画期間は、今後10年間を通じて目指すべき教育の姿を明らかにし、前期5年間の総合的かつ計画的に取り組む施策を具体化するものです。

○参考：上位計画との関連



---

## 第2章 飛騨市の教育の現状と課題

### 【1】国・県の動向

国においては、少子高齢化・環境問題・社会のグローバル化など国内外の状況の急速な変化に対応し、教育の果たすべき使命を踏まえ、平成18年12月に改正教育基本法を制定しました。

この基本法においては、「人格の完成」や「個人の尊厳」など、これまで教育基本法に掲げられてきた普遍的な理念は大切にしつつ改めて「教育立国」を宣言し、教育を重視し、その振興に向け社会全体で取り組むことが必要だと示されました。

また、平成20年7月に教育基本法第17条第1項の規定に基づき「教育振興基本計画」が策定され、教育基本法に示された理念の実現に向けて、今後10年間を通じて目指す教育の姿を、「義務教育終了までに、すべての子どもに、自立して社会で生きていく基礎を育てる」と「社会を支え、発展させるとともに、国際社会をリードする人材を育てる」とし、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図っています。

さらには、現在、産業空洞化や生産年齢人口の減少などの深刻な諸課題を抱え、極めて危機的な状況にあることを踏まえ、第二期教育振興基本計画の策定に向け、平成23年12月中央教育審議会の基本計画部会では、教育政策に関する明確な成果目標の設定を柱とする策定に向けた「基本的な考え方」素案を示しました。

この素案では、東日本大震災の教訓も踏まえ、今後の教育行政の方向性を提示しており、「社会を生き抜く力の養成」のほか、「未来への飛躍を実現する人材の養成」「学びのセーフティネットの構築」「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」の4つの方向性を挙げて、平成25年から5年間の方向が検討されているところです。

生涯学習においては、「超高齢化社会」に対応した新たな生涯学習のあり方が有識者会議で議論され、座長は、生きがいの探究を助けることも社会の義務との考えを示されました。

これは、近年の社会・経済が急激に変化している状況のなか、社会・経済の変化に対応していくために、また社会の成熟化に伴い、幅広い年齢の人々に学ぶことへの意欲が高まっています。

---

文部科学省では、学習需要の拡大に応え、さらに、学歴社会の弊害を是正していくという点から、「人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学習することができ、その成果が適切に評価される」ような生涯学習社会の構築が必要だとされています。

生涯学習とは、学校において行われている学習のみならず、地域・社会で行われている学習を含んだ包括的な概念であり、文部科学省では、生涯学習社会の実現を目指し、学校教育・社会教育などの教育システム全体を総合的に見直しています。

スポーツにおいては、広く国民に浸透し、スポーツを行う目的が多様化するとともに、地域におけるスポーツ団体の成長や、技術の向上、交流や貢献の活性化など、スポーツをめぐる状況は大きく変化している状況を踏まえ、スポーツの発展に寄与してきたスポーツ振興法から、平成23年6月に「スポーツ基本法」が制定公布されました。

この法律により、基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務やスポーツ団体の努力等を明らかにされており、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進されています。

岐阜県においては、平成20年12月に教育基本法第17条第2項の規定に基づき「岐阜県教育ビジョン～豊かな自然と人の絆がはぐくむ夢と志～」が策定されました。

県の教育が目指す人間像を『高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」』と定め、県の教育の基本理念としました。

さらに、基本理念に基づき、岐阜県の子どもたちには、

- ・自分に自信を持ち、たくましく生きる力「自立力」
- ・人とつながり、互いに生かす力「共生力」
- ・高い志をもち、夢に挑戦する力「自己実現力」

の3つの力を一体としてバランスよく育成していくことが示されました。

この教育ビジョンの着実な推進のため、4年目を迎えた平成24年は、「きめ細かな教育の推進」を始め、7つの重点目標を掲げて重点施策を推し進めているところです。

## 【2】飛騨市の教育を取り巻く現状と課題

### 1) 学校教育の現状と課題

#### ①学校規模と地域性

- 本市には、小学校6校、中学校3校があり、それぞれ約1,300人の児童と約700人余の生徒が学んでいます。
- 各小・中学校の校区は豊かな自然に恵まれ、保護者・地域の方々も学校教育への関心は高く、学校の教育活動にもたいへん協力的です。また、多くの児童生徒が地域の例祭をはじめ、数々の地域行事に進んで参加しています。
- スクールバスは、現在22台で運行しており効率的な更新計画とその配置が必要です。

#### ②児童生徒の実態

- 学力については、一人一人の伸びという観点から、同一調査対象者の平成21年度の小学校6年生と平成24年度の中学校3年生における全国学力・学習状況調査結果を比較すると、国語A（知識理解）・B（活用）、数学のA・Bの全項目で伸びが認められました。また、それぞれの出口における付けたい学力という観点からは、小学校6年生では、前年度実施の市標準学力調査から、国語A、算数A・Bでは伸びが見られましたが、全項目で全国平均を下回りました。  
一方、中学校3年生では国語B、数学A・B、理科の4項目が全国平均を大きく上回っています。
- 市内児童生徒の問題行動については、小・中学校でほとんど見られず安定しています。また、要保護・準要保護の児童生徒数には大きな変化はありませんが、経済状況が不安定な家庭や一人親家庭が増える傾向にあります。
- 市内各学校では、学んだ力が子どもの姿となって身に付く特色ある学校づくりを推進し、一人一人に基礎的基本的な知識・技能を取得させ、思考力、判断力、表現力が身に付くよう、全小中学校において授業終末の評価における見届け指導に取り組んでいます。
- 特別支援教育においては、すべての児童生徒に教育的なニーズがあると考え、組織的に全校体制で一人一人に応じた支援に取組み、一人一人の自立を目指しています。

### ③学校の耐震化

- すべての小中学校において、児童生徒が安全で安心した学校生活を送ることができるよう、これまでに計画的に校舎・体育館の耐震化に取り組み、平成24年12月に宮川小学校体育館整備事業を終えました。全小中学校の校舎・体育館耐震化率は100%になり、今後は、きめ細やかな学習環境の整備及び施設の長寿命化の対策が必要となってきます。

## 2) 生涯学習の現状と課題

### ①市民の生涯学習ニーズ

市民アンケートの結果等から、市の現状と課題を検討しました。

- 生涯学習の認知度は82%という結果でしたが、生涯学習をしていないという回答も40%あり、していない理由として「仕事や家事が忙しくて時間がない」や「きっかけがない」などの理由がありました。

また、近くに「生涯学習の拠点となる場所がない」といった意見もあり、学びたいこととして「趣味、芸術、スポーツ、情報」などが上位を占めています。

- 生涯学習情報は「市の広報誌」から生涯学習情報を取得しているという回答が、62%という結果でした。市では、「広報ひだ」だけではなく、「飛騨市ホームページ」「飛騨市同報無線」「飛騨市ケーブルテレビ」など幅広く学習情報を提供しており、行政からの生涯学習情報の提供は、これからも重要であるといえます。  
しかし、個人アンケートの意見から、「サークル活動の情報が得られない」「もっと回覧板にいろいろと情報を提供してほしい」など、情報が不足しているという意見もあり大きな課題となっています。

- 生涯学習に関する市民アンケートでは、身近な地域の公民館とともに、「市営公民館」「図書館」「体育館」などの、公営の社会教育施設で学習しているという回答が多くありました。

公営の社会教育施設の数、ある程度整備はされているものの老朽化が進んでおり、大規模な修繕が必要な施設も多く、安全面などからも大きな課題となっています。

---

また、新しく建設された図書館は、幅広い年代の方に利用されており、市民アンケートの結果では「図書資料の充実」とともに、「交流の場として開かれた場所」としての要望も多く見受けられることから、飛騨市の新たな生涯学習・情報発信拠点として期待されています。

- 学んだことを活かす方法としては、個人の趣味や、健康、生きがいづくりなど、個人の生活向上へ活かす方法と、学んだ成果を他の人へ伝えたり、市民活動や地域社会の発展に活かす方法があります。

市民アンケートでは、学んだことの活用方法について、家族や生活のために活用したいという意見とともに、地域活動やボランティア活動などの意見もありました。様々な課題を抱える現代社会では、自分のためだけの学習ではなく、個人の学びを地域社会に活かすことのできる取り組みが期待されています。

## ②地域社会における生涯学習

- 市の生涯学習の取り組みに対する評価から、重要度が高く満足度が低い項目として、「家庭教育や青少年育成」が挙げられ、子どもと一緒に体験できる学習機会の場の提供や、親子で成長できる学びの場を求める意見がありました。

また、子どもや青少年に対して、自分が学んだことを活かしたいという意見も多く寄せられました。少子化が進むなかで、地域の宝である次世代のふるさとを担う子供たちを、地域全体で健やかに育てる取り組みが求められています。

- 地域の生涯学習に関する意見から、「リーダー育成やボランティアなど若い人を育てる生涯学習の提供」や「地元を愛する若きリーダーをサポートできる生涯学習のあり方」など、ふるさと意識をもった人づくりへの取り組みに期待する声がありました。地域に根付いた人づくりのためには、自己実現や自己啓発に加え、地域の人間関係をより豊かにすることが大切であり、地域の人材の力を活用しながら、市民活動の情報提供や相談体制の充実を図るなど、市民活動の推進に必要な取り組みが求められています。

### ③地域の文化芸術環境

- 地域の伝統芸能の継承については、過疎化が進むことで後継者不足が生じ、後世に残していくことが大きな課題となっています。
- 文化財の保存と活用は、旧町村時代に、各々の基準で指定された文化財についてその価値と歴史的背景を改めて調査し、全市的に総合的な見直しを図る必要があります。
- 文化団体は、高齢化や会員の減少といった課題を抱えており、また、こうした団体に加入しないサークルが増えてきているなど、地域の文化活動の形態が大きく変わってきている実態があります。
- 市内には、文化施設として図書館、美術館、歴史民俗資料館や、指定管理施設など多くの施設がありますが、さらなる利用の促進を図るためには、関係部局などとの連携による、利用者のニーズを的確に把握した企画内容の充実が求められています。

### ④地域のスポーツ環境

- 地域スポーツは、目的が多様化するとともに、地域におけるスポーツ団体の成長や、技術の向上、交流の活性化などの一層の充実が求められています。  
また、スポーツ大会等の参加者は年々減少している傾向にあり、大きな課題となっています。



## 第3章 基本理念と施策の基本目標

### 【1】基本理念と基本目標

平成22年に策定された飛騨市第二次総合計画では「市民生活重視」をキーワードとして、「市民がいつまでも安心して暮らせるまち」として、その実現に向け進めています。

この将来像実現に向け、すこやかな保育・教育の実践である「安心して子育てできるまちづくり」を基本方針の一つに据え、変化の激しい現代社会の中で求められる心の豊かさは、人とのつながり、支え合い、高め合うことによって具現され、この心の豊かさこそが、ふるさと飛騨市を愛し、生涯にわたって学び続ける人づくりの基盤となります。

こうした本市の教育の現状を踏まえ、本計画の基本理念を次のとおり定め、教育を総合的かつ計画的に推進していくため、4つの基本目標を次のとおり定めます。

### 基本理念

ふるさと意識をもち 学び続ける人づくり

**基本目標Ⅰ 自ら学び未来を切り拓くことのできる人づくりを目指します。**

**基本目標Ⅱ ふるさとを愛し 地域に貢献する心豊かな人づくりを目指します。**

**基本目標Ⅲ 生涯にわたり意欲をもって学び続ける人づくりを目指します。**

**基本目標Ⅳ 学びを支える環境を創ります。**

この4つを全体の大きな目指すべき基本目標としながら、6つの施策の方向を示し、具体的な施策を展開します。

---

## 【2】 施策の方向

### ◆施策の方向 1 「ふるさとを愛し たくましく生きる力を育む学校教育の推進」

- (1) 確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進
- (2) ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな身体づくりの推進
- (3) 一人一人を大切にし 一人一人のよさを伸ばす教育の推進

### ◆施策の方向 2 「安全性の高い安心な教育環境の提供」

- (1) 快適な教育環境の整備
- (2) 地域の食文化を活かした安全な学校給食の提供

### ◆施策の方向 3 「地域ぐるみで子どもを育む活動の推進」

- (1) 親の育ちを応援し 地域のつながりをつくる家庭教育の推進
- (2) 地域が一体となった青少年健全育成の推進

### ◆施策の方向 4 「郷土愛にあふれ地域に根ざした人づくりの推進」

- (1) 社会教育関係団体と人材の育成
- (2) 地域の歴史や文化財の保護と継承

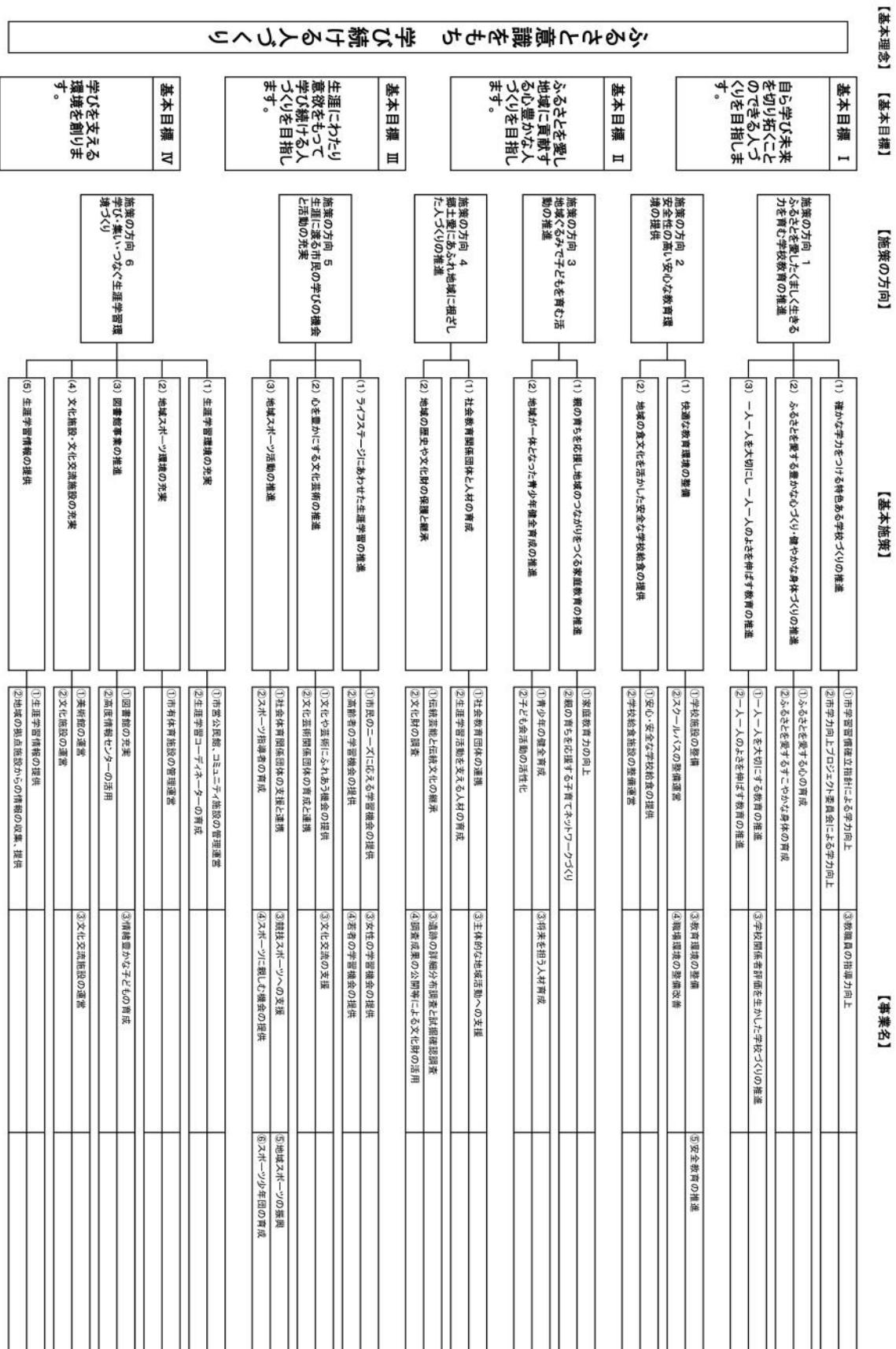
### ◆施策の方向 5 「生涯にわたる市民の学びの機会と活動の充実」

- (1) ライフステージにあわせた生涯学習の推進
- (2) 心を豊かにする文化芸術活動の推進
- (3) 地域スポーツ活動の推進

### ◆施策の方向 6 「学び・集い・つなぐ生涯学習環境づくり」

- (1) 生涯学習環境の充実
- (2) 地域スポーツ環境の充実
- (3) 図書館事業の推進
- (4) 文化施設・交流施設の充実
- (5) 生涯学習情報の提供

### 【3】計画の体系



## 第4章 目標を実現するための基本施策

### 【1】基本施策

施策の方向1 ふるさとを愛し たくましく生きる力を育む学校教育の推進

#### 基本施策（1）確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進

市の学習習慣確立指針をもとにして、家庭と連携して学習習慣の確立を図り、個に応じたきめ細かな指導と単位時間毎の確実な評価に取組み、一人一人に基礎的基本的な知識・技能を取得させ、思考力、判断力、表現力を付けます。

##### ① 市学習習慣確立指針による学力向上

飛騨市小・中学校教育指導の方針と重点に、学力向上を次のように位置付け、全小中学校で取組みます。

- 基礎的基本的な知識・技能を取得させ、思考力、判断力、表現力を付けます。
- 各学校は、市の学習習慣確立取組指針における目指す姿の指標を具体化し、取組みの評価をもとに次の目標づくりをします。
- 単位時間の終末の過程では、一人一人のノートの終末評価問題に必ず○を打って返し、家庭学習につなぐ指導を位置付けて、保護者へのたよりとします。また、家庭学習の手引きを基に家庭と連携し、前日の家庭学習の取組みを帯時間等を利用して、見届け返します。

##### ② 市学力向上プロジェクト委員会による学力向上

- 各学校は、年度初めに全小学校6年生と全中学校3年生が文科省の全国学力・学習状況調査に、年度末には、全小・中学生が市による標準学力調査に取り組みます。
- 学力向上プロジェクト委員会は、2つの調査により、市全体の定着度と伸びから指導の重点化を図り、各学校の学力向上研究計画を改善して、第二次総合計画の「学力向上プロジェクト事業」の成果指標の達成を目指します。
- 学力向上プロジェクト委員会は、定期的に市学習習慣確立指針における達成指標を修正して市全体の取組みを改善し、一人一人のさらなる学力向上を目指します。

### ③ 教職員の指導力向上

- 教育研究所センター主催の教員研修事業において、学力向上のための指導方法改善に取り組みます。
- 市内教職員は、研究所主催の各種研修（経験年数・領域・課題別）講座に自主的に取り組み、授業研究による指導力向上を評価します。
- 基礎学力定着支援事業における研究協議会において、全市教職員で公開授業をもとに、終末評価まで進み、一人一人を最後まで見届ける指導方法の改善に取り組み、学力向上を目指します。
- 児童生徒の作品や活動を計画的に交流し合い、よりよい言語活動や表現活動を高めていきます。

#### ■ 主な事業

- ・ 飛騨市教育研究所センター事業（教員研修事業）
- ・ 学力向上プロジェクト事業
- ・ 基礎学力定着推進事業
- ・ 小学4年生の少人数学級配置事業
- ・ スーパー少人数指導事業
- ・ 神岡町連携型中高一貫教育推進事業

## 基本施策（2）ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな身体づくりの推進

飛騨市の自然、歴史、人、文化に親しむ教育活動に取り組み、ふるさと飛騨市を愛する心を育てます。また、地域の方々をゲストティーチャーとして学校に招いて、地域の方々と一緒になって、飛騨市の自然、歴史、人、文化を基盤にした探求的な学習に取り組むことにより、自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決していこうとする力を育てます。

さらに、ALTを全小学校においては外国語活動に、全中学校では英語科授業に配置して、児童生徒と一緒に活動、学習することにより、コミュニケーション能力と多文化の中で共に生きる力を育てるとともに、自分たち飛騨市のよさを見つめ直し、ふるさとへの誇りを育てます。

## ① ふるさとを愛する心の育成

- 自分を見つめ他を思いやる心とよりよく生きようとする態度を育て、保護者・地域と連携して、豊かな体験を通じた地域ぐるみの道徳的実践活動を推進します。
- 進んで図書館を利用して本に親しみ、自分の心に話しかける（自己内対話）力を育てます。
- 指導計画に基づき、小学校外国語活動を実践し、コミュニケーション能力の素地を育てます。
- 情報を適切に活用し、主体的に対応できる力を育てると共に、情報モラルを守り、情報社会で適正な自己の生き方を考え、主体的に進路選択できる能力や態度を育てます。
- 専門的な知識や技能を有する地域の方々をゲストティーチャーとして学校へ招いて、地域の特性を生かした学習活動に児童生徒と共に取り組むことで、ふるさと飛騨市を愛する心を育てます。

## ② ふるさとを愛するすこやかな身体の育成

- 家族と共に運動に親しみ、食育に関心をもって、進んで健康で安全な生活を送ろうとする態度を育てます。
- 雪国飛騨市の特性を生かしたスキーなどの活動をとおして、冬期間の体力づくりに努めるとともに、親子で共に取組み、家族の絆をより深めます。

### ■主な事業

- ・学校支援者活用事業
- ・運動部活動等外部指導者活用促進事業
- ・豊かな心を育む教育活動推進事業
- ・飛騨市教育研究所以外-事業（学校情報化推進事業）
- ・ALT活用国際化事業
- ・小・中学校野外活動補助事業

### 基本施策（3）一人一人を大切にし 一人一人のよさを伸ばす教育の推進

一人一人にやる気と自信を育て、めあてをもって仲間と共にやりぬく学級、学校をつくれます。また、市の児童生徒支援員、教育相談員などを各学校に適正に配置して、全校体制による教育相談活動を充実し、一人一人のよさを理解し、さらに伸ばしていきます。

#### ① 一人一人を大切にする教育の推進

- すべての児童生徒に教育的なニーズがあるととらえ、組織的に全校体制で一人一人に応じた支援に取り組めます。
- 子育て支援手帳を活用しながら、その子なりの社会自立を支援し、社会参加に必要な力を育てます。

#### ② 一人一人のよさを伸ばす教育の推進

- いじめや差別を絶対許さない学校・学級づくりに取り組み、人間尊重の精神があふれる校風づくりに取り組めます。
- 不登校などを含めた生徒指導諸事案には、教育委員会と連携して、各主任を中心にしたチームで指導に取り組み、迅速に対応するとともに未然防止に努めます。

#### ■主な事業

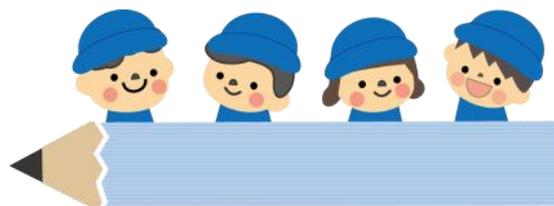
- ・児童生徒支援員配置事業
- ・飛騨市教育研究所センター事業（教育相談事業）
- ・小学校スクールカウンセラー派遣事業
- ・産休・病休等引継ぎ支援事業

### ③ 学校関係者評価を生かした学校づくりの推進

- 学校評議員を委嘱し、学校や地域での子どもたちの姿から、学校経営への意見を伺い、学校経営方針の改善をすすめます。
- 学級通信や学校通信等で、保護者地域に子ども達の姿や学校の取り組みを紹介したり、意見を伺ったりするなど、定期的に双方向の情報を発信します。
- 保護者・地域に学校の教育活動を計画的に公開して交流を図って、積極的に教育活動に参加していただくなど、開かれた学校づくりを推進します。

#### ■主な事業

- ・学校評議員の会
- ・学校支援者活用事業



## 施策の方向2 安全性の高い安心な教育環境の提供

### 基本施策（1）快適な教育環境の整備

安全・安心で快適な環境の中で学ぶことができる、安全性や機能性の高い良好な学校づくりに取り組みます。

#### ① 学校施設の整備

- 飛騨市の学校校舎や体育館などの施設については、平成20年度の耐震化率が44%、県下の市では最低の率でありましたが、早急に整備計画を練り直し、平成24年度に100%耐震化を完了しました。今後も老朽化などに対応するため計画的に改修等を行います。

##### ■主な事業

- ・学校施設整備事業

#### ② スクールバスの整備運営

- 児童・生徒の安全な通学確保のため、スクールバス運行体制の整備に努め、老朽化した車両を計画的に更新を行います。また、効率的な車両配置により、費用の低減を図ります。

##### ■主な事業

- ・スクールバスの整備運営

### ③ 教育環境の整備

- 知識や技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成に寄与する学校図書館の機能向上のため、図書整備による学校図書館図書標準の達成に取り組みます。  
また児童生徒と本をつなぐ学校図書司書補を全小中学校に配置し、親しみの持てる図書館づくりに努めます。
- 児童生徒の学校生活及び学力向上のために必要な教材備品等の整備を計画的に行うとともに、教育用コンピューターなどの情報通信関連機器の整備を行います。

#### ■主な事業

- ・学校図書司書補の配置
- ・学校図書館用図書定期購入
- ・教育機器整備事業

### ④ 職場環境の整備改善

- 教職員が産育休や病休等により長期休暇が必要となる場合においても、事前に補充者と共同で指導に取り組み、児童生徒や学級の実態を十分に把握させることで、教職員・児童生徒ともに安心して学校生活を営むことができる環境を整備します。
- 専門的な技能・知識を有する外部指導者と協力・連携して部活動に取り組み、部活動の活性化を図るとともに、生徒の健全育成の推進と部活動担当教員の指導力向上に努めます。

#### ■主な事業

- ・産休・病休等引継ぎ支援事業
- ・運動部活動等外部指導者活用促進事業

### ⑤ 安全教育の推進

- 地震・水害等の自然災害や、事件・事故の危険から児童生徒の安全・安心を確保するため、通学路、学校遊具等の安全点検を定期的を実施します。
- 自分の命は自分で守る安全な行動や的確な避難行動ができ、学校、地域の防災活動や災害時におけるボランティア活動に進んで取り組んでいこうとする態度を育てます。

#### ■主な事業

- ・自分の命は自分で守る子どもを育む事業

## 基本施策（２）地域の食文化を活かした安全な学校給食の提供

### ① 安心・安全な学校給食の提供

- 児童・生徒の発達段階に応じた栄養バランスのとれた、安心・安全な地域の伝統食材や地産地消の食材をふんだんに取り入れた、おいしくて楽しい学校給食を提供します。
- 栄養士や栄養職員による食育事業を充実させ、給食訪問等を通じて食事について正しい理解や健全な食生活を営むことのできる判断力を培います。
- 普段の食生活が自然の恩恵や食にかかわる多くの人々の、様々な活動に支えられていることについて理解を深め、命や自然の尊さ、さらには勤労を重んずる態度を養います。
- 伝統的な食文化について理解を深め、食事のもつ重要性や家族との食事や一緒に調理することの大切さなどについての啓発を推進します。

#### ■主な事業

- ・学校給食提供事業

### ② 学校給食施設の整備運営

- 学校給食施設を適正かつ効率的に整備し、安心・安全な学校給食を提供します。
- 学校給食に使用する食材の産地情報の提供や、食材の放射能検査を定期的実施することにより、給食に対する信頼感を維持していきます。

#### ■主な事業

- ・学校給食施設整備事業
- ・消費者庁貸与機器による放射能検査実施事業

## 施策の方向3 地域ぐるみで子どもを育む活動の推進

### 基本施策（1）親の育ちを応援し 地域のつながりをつくる家庭教育の推進

少子化や核家族化などにより、親や家庭を取り巻く状況のほか、子育てや家庭環境を支える環境が大きく変化しています。家庭は子どもたちの健やかな育ちの基盤としてすべての教育の出発点であり、家庭教育学習の充実を図るとともに、家庭・学校・地域の連携を推進し、社会全体で子どもの健やかな育ちを支援する環境を整えるなど、地域全体の家庭教育力向上を図ります。

#### ① 家庭教育力の向上

- 子どもの思いやりの心を育み、基本的な生活習慣や自立心など社会の一員として生きることのできる力を身に付けるため、年代ごとに親の学びを応援する家庭教育に関する学習プログラムの充実を図ります。
- 企業における家庭教育の理解を深め、ワークライフバランスの推進など地域全体の家庭教育力の向上につなげます。

##### ■主な事業

- ・家庭教育学級
- ・乳幼児・幼児学級
- ・企業内家庭教育研修
- ・親子美術教室

#### ② 親の育ちを応援する子育てネットワークづくり

- 地域の実情にあわせたきめ細かい子育て支援のため、市民協働による子育て支援のネットワークづくりを進めます。

##### ■主な事業

- ・飛騨市生涯学習推進会議
- ・1家庭1ボランティア推進事業

## 基本施策（２） 地域が一体となった青少年健全育成の推進

家庭や学校はもとより、すべての市民が連携・協力・参加できる体制を整え、地域社会全体が一体となった青少年健全育成に関する取り組みを実践します。

また、社会に貢献することの楽しさや素晴らしさを体験することにより、子どもたちの自立心や郷土を愛する心を育て、次代を担う心豊かな飛騨市の子どもを育成します。

### ① 青少年の健全育成

- 「あいさつ」「つながり、支え合い」「ボランティア」「郷土愛」「環境美化」に基づいた実践活動を推進します。
- 家庭や各地域における行事や取り組みにおいて、地域の大人たちが子どもとともに参加できる仕組みづくりを進めます。
- 登下校時や休日等の地域の子どもの安全確保を図るため、学校と地域が連携した声かけ・見守り活動推進や学校からの全保護者へのメール配信など、防犯や地域づくり、環境などの関係機関と連携し、地域の安全整備の取り組みを展開します。

#### ■主な事業

- ・青少年健全育成事業
- ・地域見守り活動支援事業
- ・生涯学習推進会議

### ② 子ども会活動の活性化

- 地域のつながりを基盤とした異年齢の活動により、子どもたちの仲間と生きる力や課題を解決する力を身につけるとともに、ふるさと意識の醸成につなげます。
- 子ども会活動を支えるジュニアリーダーの育成とともに、ジュニアリーダーの指導者となるシニアリーダーの育成にも取り組みます。

#### ■主な事業

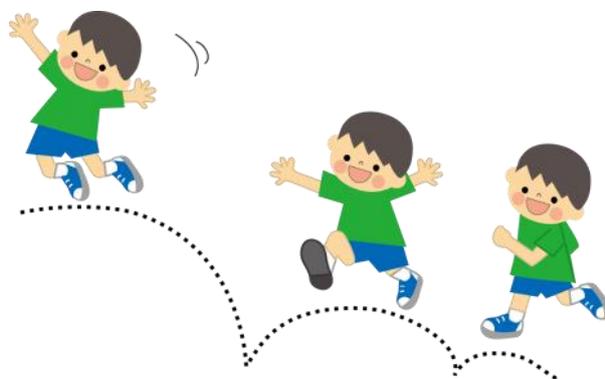
- ・子ども会活動推進事業
- ・ジュニアリーダー育成事業

### ③ 将来を担う人材育成

- 市の将来を担う人材を育成するため、青少年の成長や自ら学ぶ機会を提供します。
- 教育の機会均等の観点から、学ぶ意欲と能力がありながら、経済的理由により修学が困難な学生に対し、安心して勉学に励める支援を進めます。

#### ■主な事業

- ・少年の主張大会
- ・異文化体験推進事業
- ・成人式開催事業
- ・育英基金貸付事業
- ・育英基金地元就職補助金交付事業
- ・青年団体育成事業



## 施策の方向4 郷土愛に溢れ地域に根ざした人づくりの推進

### 基本施策（1）社会教育関係団体と人材の育成

地域の活動を活性化するためには、地域の歴史や文化など、地域の特色を活かした活動が必要であり、社会教育関係団体の支援とともに、地域の生涯学習を推進する人材を育成します。

#### ① 社会教育団体の連携

- 生涯学習活動や地域づくりの活性化を図るため、社会教育に関する調査・研究や、諸問題・課題などについて提言する組織づくりを目指します。
- 社会教育委員を中心とした生涯学習推進会議を組織し、関係団体の連携や協力体制づくりを図るとともに、生涯学習推進の啓発・普及活動のほか、各種団体、関係者の育成を進めます。

##### ■主な事業

- ・社会教育委員の会
- ・生涯学習推進会議

#### ② 生涯学習活動を支える人材の育成

- 様々なライフステージにあわせた個人の学びの充実や、地域の実情にあわせたきめ細かな地域社会の充実のため、地域の生涯学習推進のリーダーとして大きな役割を担う人材を育成します。
- 地域や学校との連携や、様々な「学びたい・教えたい」を結ぶなど、市民が学び・集い・つなぐことのできる生涯学習拠点づくりをサポートする人材を育成します。

##### ■主な事業

- ・社会教育主事育成事業
- ・生涯学習コーディネーター育成事業

### ③ 主体的な地域活動への支援

- 地域独自の歴史と文化を尊重したふるさとづくりを進めるため、公民館や社会学級などの地域団体の活動支援を進めます。

#### ■主な事業

- ・地域団体育成支援事業

## 基本施策（２）地域の歴史や文化財の保護と継承

地域の伝統文化の継承者を育成するために、各種団体の活動や市民講座のほか、学校での授業にも継承活動を取り入れるなど、市民のふるさと意識を高めます。

また、歴史や文化を映像や音源によりアーカイブに残していくよう取り組む必要があります。

文化財については、指定、指定外を問わず調査研究し、市民に成果を還元することで、ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりを目指します。

### ① 伝統芸能と伝統文化の継承

- 伝統芸能や民俗習慣の記録・保存及び地域や学校との連携により後継者の育成支援に努めます。
- 記録した映像等の資料の公開を目指します。

#### ■主な事業

- ・地域伝統文化アーカイブ事業
- ・生活習慣、民俗習慣アーカイブ事業
- ・地域文化学校連携事業

## ② 文化財の調査

- 指定・指定外の文化財を総合的に調査研究し、現状把握と専門家による検証により、重点的に保護する文化財の把握に努めます。

### ■主な事業

- ・文化財総合調査事業
- ・民俗資料調査事業

## ③ 遺跡の詳細分布調査と試掘確認調査

- 過去の遺跡台帳を参考に現地踏査を行い、正確な遺跡地図の公開によって、法令の周知に努めます。
- 土地開発等が予想される遺跡での試掘確認調査により、土地開発と遺跡保護の調整を行います。

### ■主な事業

- ・詳細分布調査事業
- ・試掘確認調査事業

## ④ 調査成果の公開等による文化財の活用

- 市政見える化講座や学校への出前講座などによる飛騨市の歴史と文化を知る機会づくりを行います。
- 市外への文化財貸出や講演により飛騨市の文化財の周知を行います。

### ■主な事業

- ・発掘調査現場説明会
- ・市民講座開催事業

## 施策の方向5 生涯に渡る市民の学びの機会と活動の充実

### 基本施策（1）ライフステージにあわせた生涯学習の推進

人々の価値観やライフスタイルが多様化する中で、いつでもどこでも誰でも、年代やニーズ、ライフステージにあわせた生涯学習の機会を提供します。

#### ① 市民のニーズに応える学習機会の提供

- 年代や現代的課題など、社会の変化や市民のニーズに迅速かつ柔軟に対応した講座を開催します。
- 市民の様々な学びの要求に応えるため、公民館講座などの内容の充実を図るとともに、自主自立型公民館講座を推進し、学びを支える人材を育て、教えたい人の充実を図ります。

##### ■主な事業

- ・市民講座
- ・誰でも自主講座

#### ② 高齢者の学習機会の提供

- 地域にあわせた高齢者学級を開催し、健康でいきいきと暮らすために必要な学習機会を提供します。
- 自主的に行われている趣味や健康づくりなど、市民のサークル活動を支援します。
- 超高齢者社会を迎えるなかで、活力ある高齢者が社会参画につながる身近な地域の拠点づくりを進め、老人クラブ等の団体や高齢者関係部局との連携を図ります。

##### ■主な事業

- ・高齢者学級開催事業
- ・高齢者生きがいづくり支援事業
- ・地域ボランティア育成事業

### ③ 女性の学習機会の提供

- 女性の積極的な地域参画を促進するため、仕事・出産・育児・趣味など多様なライフステージにあわせた学習機会を提供するとともに、身近な場所で学び、同じ思いや考えの人とつながることができるなど、仲間づくりの場としても展開していきます。

#### ■主な事業

- ・市民講座開催事業

### ④ 若者の学習機会の提供

- 若者が地域を思う気持ちの醸成や、地域の再発見などふるさと意識を育むことを目的とした学習機会を提供し、若者の成長と交流の場を創出します。
- 地域で活躍する青年団体と連携し、組織の育成を支援します。

#### ■主な事業

- ・体験学習開催事業
- ・青年団体育成事業

## 基本施策（２）心を豊かにする文化芸術の推進

文化協会を中心とした多くのサークル団体が文化活動に取り組み、芸能祭や文化展などの学習成果を発表するなど、サークル活動が市民の心の豊かさの醸成と生きがいつくりにつながっています。また、美術館の活用や、地域の伝統芸能の支援などにより、市民がさまざまな芸術文化活動に親しみ、心が豊かになる文化や芸術とふれあう機会を提供します。

### ① 文化や芸術にふれあう機会の提供

- 文化施設を活用した市民音楽祭の開催など、市民の学習成果を発表の場や、文化にふれあう機会を提供します。

---

○ 地域の歴史ある文化や芸術の伝承、保存に努め、ふるさと意識や心の豊かさの醸成につなげます。

○ 美術教室など、市民の技術向上や生きがいつくりのきっかけとなる講座などの機会を提供します。

■主な事業

- ・美術教室
- ・市民音楽祭

② 文化芸術関係団体の育成と連携

○ 文化・芸術振興のため、飛騨市文化協会などの関係団体と連携し、市民主体で行われる文化活動や文化交流を支援するなど、関係組織の強化を図るとともに、文化団体の活性化を進めます。

■主な事業

- ・文化団体育成事業
- ・地域文化振興活動支援事業

③ 文化交流の支援

○ 芸能文化を通じ交流を深めることで、市域を超えた地域間理解、地域間協働を促進する文化交流事業を支援します。

■主な事業

- ・飛越ふるさと交流事業
- ・地域文化振興活動事業

## 基本施策（3） 地域スポーツ活動の推進

スポーツ基本法に則り、市の責務とスポーツ団体の努力を明らかにし、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現等を目指し、スポーツの推進に努めます。

### ① 社会体育関係団体の支援と連携

- 体育関係団体の支援や連携を図り、市民スポーツの普及振興に向けた事業を積極的に進めていきます。
- 高齢化社会を迎え健康的な生活ができる社会を目指し、関係部局と連携し高齢者等が気軽にできる体操やスポーツを模索し広めていくとともに、すべての市民のニーズや要求に応えることを目指します。

#### ■主な事業

- ・体育関係団体支援事業
- ・生涯学習推進会議

### ② スポーツ指導者の育成

- スポーツ活動指導者の発掘・育成に努めるとともに、市民のニーズや要求に応えられるよう、スポーツ指導者の資質の向上を目指します。

#### ■主な事業

- ・スポーツ推進委員活動支援

### ③ 競技スポーツへの支援

- 自ら進んで上位の大会に出場する市内の競技者に対して、激励やその功績を顕彰するなど、市民が行うスポーツの普及振興と競技力の向上を目指します。

#### ■主な事業

- ・激励顕彰事業

#### ④ スポーツに親しむ機会の提供

- 子どもからお年寄りまでスポーツを通じた市民の交流や健康づくりを目的として「その日、その場所に行けば、何かができる！」をコンセプトにしたスポーツフェスティバルの開催をします。
- 地域の特性を考え、市民が気軽に参加できるスポーツの機会を提供し、スポーツを通じて地域のにぎわいを創出します。

##### ■主な事業

- ・スポーツフェスティバルの開催
- ・山の村だいこんマラソンの開催
- ・元旦マラソンの開催

#### ⑤ 地域スポーツの振興

- いつでもどこでも誰でも気軽にスポーツができる環境づくりに向けて、総合型スポーツクラブの育成、支援を進めます。
- スポーツ関係団体と協議、連携しながら、その地域にあったスポーツサークルの育成に努めていきます。

##### ■主な事業

- ・総合型スポーツクラブ育成事業
- ・地域スポーツサークル育成事業

#### ⑥ スポーツ少年団の育成

- 青少年の健全な心身の育成や仲間づくり、また、生涯スポーツの基礎づくりの場として推進するため、団活動を行う上で重要となるリーダー・指導者・育成母集団の研修を実施するとともに、種目や地域の枠を越えた団員同士の交流を行います。
- 新たな指導者の発掘・育成を進めるとともに、子どもたちが将来も継続してスポーツに取り組めるように、体育協会をはじめ地域のサークルなど、市内のスポーツ関係組織との連携を図ります。

- 
- 単位団の発展を目指すため、運営の支援や本部組織の強化・充実を図ります。

■主な事業

- ・スポーツ少年団育成支援事業
- ・スポーツ少年団指導者育成支援事業



## 施策の方向6 学び・集い・つなぐ生涯学習環境づくり

### 基本施策（1）生涯学習環境の充実

既存の生涯学習関係施設は、老朽化の進む施設が多くなっており、計画的な改修が必要となりますが、今後、さらなる人口の減少を見据え、施設の統廃合について検討しながら、地域の拠点となる施設は積極的な整備を行うなど、地域の活力のある拠点づくりを目指します。

また、生涯学習環境の充実を図るため、市民の生涯学習活動を支援する専門職員の配置など、ソフト面の充実についてもあわせて検討します。

活力があり、魅力のある地域づくりを促進していくには、「ふるさと意識をもち学び続ける人」が、その成果を地域に還元し、地域社会全体が持続的に向上していける「知の循環型生涯学習社会」を構築することが重要となります。

そのためには、市民が「学び・集い・つなぐ」場所となる生涯学習の拠点づくりを推進し、地域のつながりを深め、市民の笑顔あふれる生涯学習環境づくりを進めます。

#### ① 市営公民館、コミュニティ施設の管理運営

- 施設の新設、改修、移転、廃止のほか、利用料金等について関係団体、地域関係者とともに検討し、市民が利用しやすい施設運営を行います。

##### ■主な事業

- ・公民館・コミュニティ施設管理運営事業
- ・施設長寿命化適正事業

#### ② 生涯学習コーディネーターの育成

- 市民の生涯学習の拠点として、人が学び・集い・つなぐ場所となるよう、市民の学びをサポートする人材を育成します。

##### ■主な事業

- ・生涯学習コーディネーター育成事業

## 基本施策（２） 地域スポーツ環境の充実

### ① 市有体育施設の管理運営

- 施設の運営について、関係団体、地域関係者とともに検討し、市民が利用しやすい施設運営を行います。
- それぞれの施設に応じた適正な管理をおこなっていきます。

#### ■主な事業

- ・スポーツ施設の管理運営
- ・施設長寿命化適正事業

## 基本施策（３） 図書館事業の推進

図書の貸出のみならず、デジタルアーカイブの提供や、市民が求める各種情報の提供を行うことで、人が集まり、一人ひとりの市民が生きがいを見だし、元気に生きるための情報発信と生涯学習の拠点となる図書館をめざします。

### ① 図書館の充実

- 利用者のニーズにあった図書の選書と行事の企画やレファレンスコーナーなどサービスの向上を図り、親しみのある気軽に利用できる雰囲気づくりに努めます。
- 図書館スタッフは、コンシェルジュ（図書館の総合案内人）として、利用者が図書館を活動の場として情報の発信や交流を行うことができるよう支援し、また幅広い分野の講座を開催することで学習の場を提供します。

#### ■主な事業

- ・図書館の管理運営
- ・図書館コンシェルジュ事業
- ・図書館イベント開催事業
- ・司書スキルアップ研修

## ② 高度情報センターの活用

- 高度情報センターは、市民が集い情報発信をするとともに、市民相互のつながりを作る場所として利用を図っていきます。
- 飛騨市に伝わる貴重な映像をアーカイブ化して市民に提供するとともに、歴史的価値を持つ映像や情報を収集していきます。

### ■主な事業

- ・デジタルアーカイブ事業
- ・情報スキルアップ支援講座

## ③ 情緒豊かな子どもの育成

- 親子を対象とした本に親しむイベントを開催するほか、イベントを実施するボランティア団体へ支援を行い、イベントの拡充や継続的な開催を図るなど、親子が気軽に利用でき、一緒に楽しむことができる図書館づくりに努めます。
- 絵本の読み聞かせなど図書館ボランティアを支援し、図書館を拠点とした親子の読書活動の推進につなげます。

### ■主な事業

- ・読み聞かせ開催事業
- ・親子読書活動推進事業
- ・図書館ボランティア支援事業



## 基本施策（４）文化施設・文化交流施設の充実

文化施設は、施設にあるものを観るだけでなく、そこで学び、興味や関心、知識を蓄えていく場でもあり、小さな美術館だからこそできる企画展を行うことで美術への関心を持ってもらうことに努めます。

また、親子対象のワークショップを開催することで、飛騨の文化を再発見することができる場を設けるとともに、展示物を観ながら地元の歴史や昔の行事・習慣について再認識する機会を提供します。

### ① 美術館の運営

- 市民が、美術に関心をもつきっかけとなる企画展を開催し、来館者の幅をより一層広げます。
- 国内公募展で優秀な成績を収めたり、画廊やギャラリーで積極的な活動行っている市民作家が、地元での発表の場として美術館を活用できる機会を提供します。

#### ■主な事業

- ・企画展開催事業
- ・市民体験ワークショップ開催事業
- ・市民ギャラリー開催事業
- ・子供わくわくギャラリー

### ② 文化施設の運営

- 市民はもちろんのこと、市内の小中学生を計画的に受け入れ、展示物を観て地元の歴史について学習し、また昔の道具を実際に使用することで、当時の生活や習慣を体験できる機会を提供します。

- 
- 昔から行われていた行事や風習を親子で体験するワークショップを開催します。

■主な事業

- ・ 江馬氏館跡公園管理運営事業
- ・ 飛騨みやがわ考古民俗館管理運営事業
- ・ 高原郷土館管理運営事業
- ・ 小中学生体験学習推進事業
- ・ 民具パック貸出事業

③ 文化交流施設の運営

- 指定管理制度により、コストの削減を図るとともに、専門職の企画やノウハウを活かし、多様なニーズに応じたイベントを実施するなど、市民が文化に親しみ交流ができる拠点づくりに努めます。

■主な事業

- ・ 文化交流センター管理運営事業
- ・ 友雪館管理運営事業
- ・ 指定管理者運営指導事業



## 基本施策（５） 生涯学習情報の提供

市民の学習ニーズを把握するとともに、わかりやすい生涯学習情報提供に努め、いつでもどこでも誰でも、生涯学習情報を得られる環境を創ります。

### ① 生涯学習情報の提供

- 広報・ホームページ・同報無線・ケーブルテレビ、町内配布など、多様な媒体によるきめ細かい生涯学習情報提供に努めます。
- ホームページなどを活用した、教育委員会独自の情報発信にも取り組みます。

#### ■主な事業

- ・ 学習情報提供事業

### ② 地域の拠点施設からの情報の収集、提供

- 公民館等を地域の情報の窓口として活用し、市民の学習ニーズを把握します。
- 市民団体のサークル活動など、様々な生涯学習活動の情報を提供し、地域に密着した、市民のための生涯学習情報の収集と提供に努めます。

#### ■主な事業

- ・ 生涯学習コーディネーター育成事業

---

## **第5章 飛騨市教育振興基本計画の推進と進行把握**

### **【1】総合的な推進体制**

#### **(1) 新たに検討が必要となる事項への対応**

前期5年間の総合的かつ計画的に取り組むべき施策の実施により、目標の実現をめざしていきますが、急速に変化する社会の中で、教育が対応すべき新たな課題が生じた場合には、適時適切に検討し迅速に対応します。

#### **(2) 関係部局との連携**

市民の学びにつながる取組みは、子育て、健康、生きがい、地域づくり、福祉、環境など様々な分野を所管する他の部局においても行われています

生涯学習の視点から、より効果的で厚みのある取組みが可能となるよう、関係部局に対して学びを通したまちづくりへの理解を深める働きかけをするとともに、相互の連携をこれまで以上に緊密にしながら、組織横断的な取組みを展開します。

### **【2】計画の進行管理**

#### **(1) 事業の点検及び評価**

本計画推進のために実施する施策について、PDCAサイクルによる計画の進行管理を行い、アウトカム評価を取り入れるなど、定期的な点検と、その結果のフィードバックによる進行管理を毎年度行います。

#### **(2) 毎年度ごとの評価**

毎年度の点検については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき実施する「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を活用し、成果目標やそれに関連する指標を設定することで効果的な推進を図り、市民に対する説明責任を果たしていきます。

